

普及活動情勢報告（平成29年11月分）

高吾農業改良普及所

傾斜地茶園でも使える！小型自走式茶園管理機実演会



茶農家や関係機関、茶業試験場、普及所で構成するプロジェクトチームが、10月18日に仁淀川町内の茶園2か所で小型自走式茶園管理機の秋整枝実演会を開催し、のべ12名の生産者が参加しました。本機は管理労力軽減・担い手不足解消を目的に開発され、現地適応性を実証するために実演会を開催しました。実演会で普及所は導入の意向や補助事業の需要を調査しました。
普及所では次年度も導入茶園での収量・品質調査を行い、茶の安定生産を支援していきます。

イチネン農園のミニトマト収穫・出荷が始まる！



今年から日高村でミニトマト栽培を始めたイチネン農園で11月5日から収穫が始まりました。7～8割程度に色づいたミニトマトは、新設されたJAコスモス第二トマト選果施設で3kg箱や200gパックに詰められて県外に出荷されました。イチネン農園では、今後は3つのハウスで作型をずらして栽培する計画です。
普及所は定期的な養液分析や、栽培管理、労力面などについて助言指導を行っています。今後も安定生産に向けて支援を継続していきます。

「第20回全国農業担い手サミットinこうち」高吾地域交流会が開催されました



10月24、25日、高吾地域の農業の担い手69名が、全国から来られた63名の担い手と、農業経営・担い手など地域の状況や農業情勢について意見交換しました。
普及所では、地元の担い手県外の担い手と情報交換することで今後の高吾地域の農業の維持や発展を考える契機となるよう、昨年来より高吾地域実行員会の運営を支援してきました。
高吾地域実行委員会・幹事会の協力のもと高吾地域交流会は、地域情報交換会（佐川町開催）や翌日の現地研修会が滞りなく開催できました。
普及所では、この取り組みを契機に、地域農業の維持・発展に向け農業の担い手同士の連携強化に取り組んでいきます。

仁淀川地区農漁村女性グループ研究会が中土佐町で視察研修を行いました



11月16日、仁淀川町農漁村女性グループ研究会は農事組合法人風工房の活動を学ぶため中土佐町を訪問し、視察研修を行いました。

風工房の政岡さんから設立当時の苦労話や現在までの取り組みについて伺った後、7月に移転した新店舗を見学しました。参加者は「後継者へのバトンタッチについての具体策は？」と質問していました。

普及所は視察研修の企画や運営に協力しており、今後も研究会の活動が充実するように、支援していきます。

今年もいよいよ出荷開始、シュガートマトの収穫が始まる！



日高村や佐川町で栽培されている高糖度トマト「シュガートマト」が11月14日に初出荷されました。10月に続いた曇雨天で生育が遅れ、例年より2週間程度遅い出荷でしたが、コスモスアグリサポートや新規就農者、規模拡大により栽培面積が約80a増えたため、出荷量は増える見込みです。出荷は来年6月まで続きます。

普及所は、現地巡回や月例会を通じ、土壌および汁液の分析や生育状況に基づいた栽培管理の助言指導を行っており、今後も継続していきます。